



地域と医療を結ぶ広報誌

# 風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL.  
**77**  
2026.1  
KAZENI  
YOSETE



CONTENTS

- 病院長挨拶 ..... 2
- 医療連携 ..... 3
- 初診にかかる特別料金（初診時選定療養費）..... 3
- こんにちは！新任です ..... 3
- 特集（臨床工学科） ..... 4
- JICAプロジェクト「ブータンにおける医学教育の質の強化」... 5
- 丸茂救急医学研究振興基金助成金表彰 ..... 5
- 第13回地域がん診療症例勉強会 ..... 6
- 医療安全推進週間 ..... 6
- 看護学院 継灯式 ..... 7
- 看護部文化祭 ..... 7
- 院内研修会「医療安全・個人情報保護研修会」..... 7
- 院内研修会「院内感染対策研修会」 ..... 7
- 無料巡回バスのご案内 ..... 8

特集

## 透析について



JA福島厚生連  
白河厚生総合病院



## ごあいさつ salutation



病院長  
農村健診センター所長  
**大木 進司**



### 今月の表紙 Cover Story

#### 【冬景色の中の白鳥】

白鳥が集う猪苗代湖。背景には磐梯山が美しく連なります。

## 新年のご挨拶

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年「丙午（ひのえうま）」の年にあたります。丙は物事が明るく表に現れること、午は活力や前進を意味するとされ、変化と挑戦の年とも言われています。医療を取り巻く環境が大きく変化する中であって、私たちもまた、地域医療の未来に向けて着実に歩みを進めていく一年にしたいと考えております。

また、今年には冬季オリンピック、WBC、サッカーワールドカップと、世界的なスポーツイベントが数多く開催される年でもあります。国や立場を越えて人々が一つの目標に向かって挑戦する姿は、私たち医療に携わる者にとっても多くの示唆を与えてくれます。チームワークの大切さ、役割分担、そして最後まであきらめない姿勢は、まさに医療現場にも通じるものではないでしょうか。

さて、医療の分野に目を向けますと、今年6月には診療報酬改定が予定されていますが、医療機関の経営環境は引き続き厳しい状況が見込まれます。物価やエネルギーコストの高騰、人材確保の難しさなど、多くの課題を抱える中で、限られた資源をいかに有効に活用し、安全で質の高い医療を提供し続けるかが問われています。

昨年1月には救急治療科を新設し、8月には、県南地域の救急医療体制をより安定したものとするため、救急輪番を担う4病院による地域医療連携協定を締結しました。単独の医療機関だけで地域医療を支えることが難しくなる中、病院同士が連携し、役割を分担しながら地域全体で患者さんを支える体制づくりが、今後ますます重要になります。今年、この連携を実のあるものとし、地域の皆さまに安心を届けられるよう取り組んでまいります。

また、9月には「病院機能評価」の更新審査を受審する予定です。病院機能評価とは、病院が安全で質の高い医療を提供できているか、患者さんへの説明や対応が適切に行われているかなどを、第三者の専門機関が確認する仕組みです。いわば病院の“定期点検”のようなもので、日々の医療や業務を振り返り、より良い病院づくりにつなげることを目的としています。この機会を通じて、職員同士の連携をさらに深め、地域の皆さまにとって、より安心して受診いただける病院を目指してまいります。

当院は、これからも「地域を守り、地域の皆さまに愛される病院を目指します」という基本理念のもと、急性期から在宅医療まで、できる限り地域で完結できる医療の提供に努めてまいります。本年が、皆さまにとって健康で実り多い一年となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

### 白河厚生総合病院について

#### 基本理念

地域を守り地域の皆様に  
愛される病院を目指します

#### 基本方針

私たちは

- 一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します
- 一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます
- 一、患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します
- 一、十分に説明をし、患者さんの意志を尊重した医療を実践します
- 一、使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます
- 一、職員の心身の健康を守り、働きやすい環境づくりを推進します

白河たていし歯科 院長の片倉祐輔です。当院は片倉内科胃腸科クリニック→片倉内科・歯科室を経て、令和7年4月1日より『白河たていし歯科』として新たなスタートを切りました。虫歯治療、歯周病治療、入れ歯の製作といった日常的なお口のトラブルはもちろん、より専門性の高い分野についても大学病院で研鑽を積んだ経験を生かしながら診療を行っております。通院が困難な方の場合には訪問歯科診療も行っておりますので、お電話でお問合せください。お口は健康のバロメーターと言われ、全身の状態とも深く関わっています。早期の治療と毎日の予防によって悪化を防ぎ、健康な歯と歯ぐきを保つことができます。お口のことで気になる点があれば、どうぞお気軽にご相談ください。

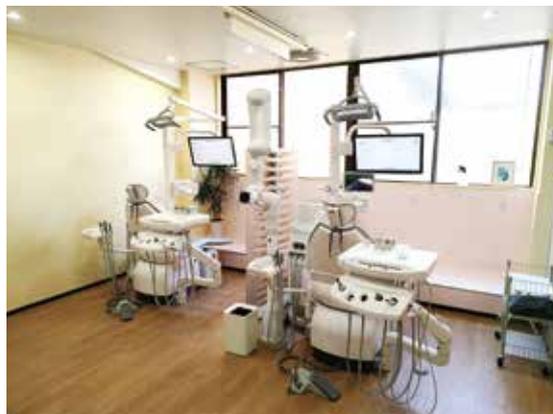
診療情報

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	—	○	○	○	○
14:00~18:00	○	—	○	△	○	—

※△：木曜午後は週によって診療あり。

診療科目 歯科、小児歯科、訪問歯科

- 住所 / 〒961-0972 白河市立石 120-6
- TEL / 0248-21-6640
- 院長 / 片倉 祐輔 (かたくら ゆうすけ)



初診にかかる特別料金 (初診時選定療養費) 変更について

白河厚生総合病院では初診に係る特別の料金 (初診時選定療養費) をご負担いただいておりますが、令和7年10月1日より、下記のとおり変更させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

※この制度は、200床以上の病院で機能分化を図ることを目的として、平成8年4月1日の健康保険法改正により定められたものです。

	変更前 (令和7年9月30日迄)	変更後 (令和7年10月1日)
初診時	3,300円(税込み)	5,500円(税込み)



次に該当される場合は徴収対象外となります。

- 他院からの紹介状持参の患者さま
- 当院の他の診療科から院内紹介されて受診する患者さま
- 救急車で来院された患者さま
- 人間ドック等健康診断で外来受診を薦められ結果表持参の患者さま
- 国の公費負担医療制度の受給対象者、
- 労働災害、公務災害の患者さま
- 地方単独の公費負担医療制度受給対象者

こんにちは！ 新任 です

白河厚生総合病院では新しい先生が、新任されました。



早く白河での職務に慣れるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。

産婦人科

稲月あかり (いなづき あかり) 【出身地】新潟県

- 趣味・娯楽 ● ベランダ菜園、カラオケ
- 略 歴 ● 令和4年 福島県立医科大学医学部卒業

県南地域の産婦人科医療に貢献できるよう日々研鑽を積んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

腎臓は、体の中の老廃物や余分な水分を排出したり、血圧の調整、体のバランスを整える大切な働きをしています。しかし、糖尿病や高血圧、生活習慣の影響で腎臓の機能が弱くなると、体の中に不要なものが溜まり、進行すると透析という治療が必要になることがあります。

透析は、腎臓の働きを人工的に補い血液をきれいに保つ治療です。透析により体にたまった老廃物や余分な水分を取り除き、体の状態を整えます。

透析治療には主に2つの方法があります。

## 血液透析(HD)

医療機関(病院やクリニック)で行う透析方法です。通常、週3回、1回あたり約4時間程度血液を機械に通して清浄化します。

## 腹膜透析(PD)

ご自宅で行う透析方法です。おなかの中(腹膜)を利用して血液を清浄化します。

透析は命を守るために大切な治療ですが、生活に制限(通院や食事内容など)が増えてしまいます。また、腎臓の働きは一度低下すると元に戻りにくいため、早めの予防と生活習慣の改善がとても重要です。

透析予防のために今日からできるポイントをいくつか紹介します。

### ① 血糖値・血圧をしっかり管理しましょう

- 医師の指示通りの薬を継続して服用する。(降圧剤やインスリンなど)
  - 定期的な血液検査を受ける ● 無理のない運動習慣を身につける ● 家庭で血圧測定を行う
- 糖尿病や高血圧は腎臓の血管にダメージを与えやすく、腎機能低下の大きな原因となります。

### ② 塩分を控えましょう

塩分を摂りすぎると、むくみ・高血圧・腎臓への負担につながります。味付けは薄味にし、漬物・加工食品・インスタント食品などは控えましょう。

目安は 1日6g以下

### ③ 水分と体重の管理

水分を摂りすぎると腎臓に負担がかかる場合があります。医師や栄養士と相談し、自分に合った水分量の目安を知りましょう。

### ④ タンパク質・カリウムなどのバランス

肉・魚・大豆製品などの摂りすぎも腎臓に負担となることがあります。また野菜や果物に多く含まれるカリウムにも注意が必要です。必要な量は人によって違うため、栄養指導を活用しましょう。

### ⑤ 禁煙・適正体重の維持・適度な運動

喫煙や肥満は腎機能低下を進める原因になります。無理なく続けられる運動や生活改善を取り入れていきましょう。

腎臓病は初期症状がほとんどなく、気づかない間に進むことがあります。

尿検査・血液検査・血圧チェックを続け、変化があれば早めに医療スタッフへ相談しましょう。わからないことや不安なことがあれば、遠慮なくご相談ください。

# JICAプロジェクト「ブータンにおける医学教育の質の強化」 —蘇生教育短期派遣専門家—

救急治療科 安田 貢

今回、蘇生教育の専門家として、日本政府とブータン王国政府との国際協定に基づく政府開発援助(ODA)であるJICA事業で現地医師、看護師などの指導を行うため、日本から短期派遣される機会を得ました。派遣先のブータンは、近年、非感染性疾患が死因の過半数を占め、その治療体制の強化および予防サービスの拡充が求められています。医療費は渡航者も含め全国民無料ですが、医師などの医療系資格はインドやパキスタンで取得していたため、医師、看護師不足が慢性的に続いています。2023年10月にブータン初の医学部がKGUMSB(王立大学)に開設されたことにより、卒前教育から卒後継続研修まで一貫して医療従事者の教育を担う国内機関となることが期待され、そのカリキュラムを支援する日本のスペシャリストとして指名されました。日本からブータンへの直行便はなく、タイ経由で2日ほどかかります。同行者もなく完全な一人旅であったため、渡航前は異文化の地で目的地に行き着けるかという不安が大変大きく、標高2400mのパロ国際空港についてJICA職員に出迎えられたときは心底安堵しました。現地は、前国王70歳の誕生日を祝う2週間のフェス(祈りの会合)直前で、入国審査では「フェスに来たのか?」と尋ねられるほど、通常と異なり国内外の仏教徒で賑わっていました。首都ティンピーから1時間ほどの会場でブータンの救急医や循環器内科医、看護師など約20人を対象に、2日間終日講義を行い、医学教育の礎となるノウハウを活発に討論し盛会に終えられました。ところで、ブータンの通貨はニュルタム(BTN)で1BTNは約1.6円です。ブータン米は非常に美味しく、食事代400~600BTNでおなかいっぱいです。コーヒー1杯は約100BTN、宿泊は朝食付きで1泊2500BTNでした。自然と共存し、世界中の生ける物すべての命を大切にするという教えから野犬も多く、狂犬病もみられます。交通手段は自動車のみで、インド工場製のズキ車が多く走っていました。道路に信号はなく、日本同様左側通行ですが右折車優先で、混雑する交差点には警察官が手旗信号をしています。そしてロイヤルファミリーの写真が、あらゆる場所や室内に掲げられ、治安が良く、「幸せの国」の片鱗を感じました。滞在中にJICA現地職員の皆さんと夕食をともにする機会がありましたが、母国を離れ、日本の国際貢献のため尽力する姿に感激し、誇りを感じました。自身は国内地域医療への貢献を改めて決意し、再び2日間かかる帰国の途につきました。



## 丸茂救急医学研究振興基金の助成金に採択されました

救急治療科 関根 萌

このたび、現在私が取り組んでいる研究課題「緊急入院時における医師のヘルスリテラシー向上:現状評価と説明文書の改善」が、公益信託 丸茂救急医学研究振興基金 助成金給付対象者に採択され、令和7年10月29日に大阪国際会議場で行われた第53回 日本救急医学会総会・学術集会の席上で表彰されました。この公益信託は、医療法人社団恵仁堂丸茂病院理事長の丸茂裕和先生が、急逝したご子息のご冥福を祈念し平成2年に設立されたものです。救急医学に関する研究者や、学術団体を対象としてその研究を助成し、日本の救急医学の進歩・発展と救急医療の普及に貢献することを目的にしています。今回は、全国で6つの研究が採択され、私の取り組んでいる研究課題もそのひとつとして選ばれました。

私の研究は、救急の現場におけるコミュニケーションに着目し、医師・看護師をはじめとした医療従事者と患者さんおよびそのご家族との相互理解向上のための方策を検討することを目的としています。今回いただいた助成金を活用しながら、3年以内に研究成果をまとめ、公表する予定です。

賞詞式は、学術集会のメイン行事の一環として会期中に行われましたが、私は残念ながら研究活動のため米国ハーバード大学公衆衛生大学院へ短期留学中であり参加できませんでした。代わりに研修医の田村直樹先生に出席いただきました。

今回の授与にあたり推薦頂いた大木院長をはじめ、携わってくださった皆様様に改めて感謝申し上げます。まずはしっかりと研究成果を論文としてまとめ、「白河から世界へ」発信し、地域医療に貢献できるよう一層精進して参ります。今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。



# 第13回 地域がん診療症例勉強会

総務課 山田 卓

令和7年12月5日(金)、当院において「第13回地域がん診療症例勉強会」を開催しました。当日は、婦人科科長の三浦秀樹医師が講師を務め、子宮体癌・子宮頸癌・卵巣癌をテーマに、婦人科がんの治療状況について講演を行いました。

講演では、実際の症例を交えながら、診断から治療方針の考え方、最新の治療動向まで分かりやすく解説され、参加者からは日常診療に役立つ内容であったとの声が多く寄せられました。本勉強会を通じて、地域医療機関との情報共有と連携の重要性を改めて確認する機会となりました。

当院では今後も、地域に開かれた医療の推進とがん診療の質向上を目的に、継続した研修・情報発信に取り組んでまいります。



## 医療安全推進週間

医療安全管理者 芳賀 弘子

厚生労働省では、「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するため、2001年から各関係者の共同行動を「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動（パイシエント・セーフティ・アクション）」と命名し、様々な取り組みを推進しています。

これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。

当院では11月25日～11月28日の4日間を医療安全週間とし、病院正面玄関ホールにおいて各部署で記載した『医療安全に向けた取り組み』の展示を行いました。この取り組みは、職員の医療安全に対する意識が向上するだけでなく、医療が安全に行われるために、患者様へ医療者の取り組みを伝えることが重要であると考えました。

今後も安全で安心な医療を実践し、さらなる質の高い医療を提供できるよう、医療安全推進活動を前向きに勤めていきたいと思っております。



NEWS  
01

令和7年度 継灯式

専任教員 芳賀 洋平

令和7年10月25日(出)、白河厚生総合病院附属高等看護学院において、第65回生の継灯式を挙行いたしました。当日は、JA福島厚生連代表理事理事長大野満春様をはじめ、病院関係者、保護者、在校生の皆様にご臨席いただき、厳粛かつ温かな雰囲気のもと執り行われました。式典では、前原和平学院長より「心の中に温かく、静かで優しいろうそくの炎を灯し、揺らぐことのない強い精神を育ててほしい」との挨拶がありました。1年生は式典に臨み、改めて看護師を志す決意を新たにし、ナイチンゲール像より灯を受け取り、厳かに灯火の継承が行われました。また、全員で心をつなげてナイチンゲール誓詞を唱え、それぞれが看護師としての使命と責任を胸に刻み込みました。1年生を代表して鈴木里菜さんより、「困難に直面することがあっても、志を高く持ち、理想とする看護師を目指して努力を重ねてまいります」との謝辞が述べられました。

受け継いだ灯を胸に、一人ひとりの生命と誠実に向き合うことのできる看護師へと成長されることを心より願っております。今後とも、皆様の温かいご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



NEWS  
02

看護部文化祭

看護師長 長谷川香子

看護部では外来受診された患者様やそのご家族を対象とした「心臓マッサージ体験会」を11月26日に正面玄関ホールで開催し、心肺蘇生用の人形を用いて心臓マッサージの基本を体験して頂きました。体験された方からは「体験できてよかった」とうれしい声を頂きました。



NEWS  
03

院内研修会「医療安全・個人情報保護研修会」

看護部専任医療安全管理者 堀越 一枝

毎年医療安全管理対策委員会では、年2回全職員を対象とした研修会を行っています。今年度2回目の研修は、11月19日、11月26日、12月4日と3回にわたり行われ約330名の職員の皆さんに参加頂きました。テーマは「医療安全と損害賠償と個人情報保護法・コンプライアンスについて」とし、東京海上日動火災保険の阿部美重先生より講義頂きました。私たち医療従事者にとって、相手を思いやるコミュニケーションの大切さや自分たちを守ることの大切さ、方法について学ぶことができました。

また、今回は放射線科による「診療用放射線の安全利用のための研修」について、日本医学放射線学会による動画での研修も行われました。医療放射線の必要性や安全性に考慮した治療などについて学びました。

今回の研修を通し、「医療安全は患者のために大切である」ということを改めて感じ、原点に立ち戻ることが出来たのではないかと思います。



NEWS  
04

院内研修会「院内感染対策研修会」

感染管理専従看護師 蛭田 好郁

院内感染対策委員会では、年に2回、全職員を対象とした院内感染対策研修会を開催しています。第1回は6月6日、19日、27日に開催しました。第一部では感染管理認定看護師が講師を務め「感染対策の基本について」と題し、麻しん、標準予防策(手指衛生、個人防護具、咳エチケット)について講義を行いました。感染対策の基本であり、最も重要な手指衛生については具体的な事例を交えた「手指衛生トレーニング」をおこない、手指消毒、流水と石けんによる手洗いのタイミングについて学習しました。第二部では薬剤師より「抗菌薬の適切な使用」についてデ・エスカレーション、適切な用法用量について講義を行いました。第2回は9月5日、18日、26日にAMR(薬剤耐性)をテーマに開催しました。AMRは国際社会で問題となっており、不適正な抗微生物薬使用に対して何も対策が講じられなければ、2050年には全世界で年間1,000万人が薬剤耐性菌により死亡することが推定されています。第一部では検査技師より「薬剤耐性菌について」と題し、様々な耐性菌の特性、当院における検出数、経路別感染予防策、アンチバイオグラムなどについて講義がありました。第二部は薬剤師が講師を務め「抗菌薬の適正使用」と題し、急性気道感染症、急性下痢症、急性中耳炎について厚生労働省の策定した「抗微生物薬適正使用の手引き」をもとに病態、治療法についての講義をおこないました。

感染対策について少しでも興味を持っていただけよう、その時期の特色あるテーマや、当院における現状などを取り入れながら研修会を開催しています。今後も、職員全体の感染対策についての知識の共有を図り、感染対策活動を一人ひとりが実践できるよう研修会を開催していきたいと考えています。



当広報誌「風によせて Vol.76」の「P6. 永年勤続表彰式」で一部誤りがございました。キャプションを左右逆に配置しておりました。深くお詫び申し上げますとともに、次のおり訂正させていただきます。

【誤】左「永年勤続30年」 右「永年勤続20年」 【正】左「永年勤続20年」 右「永年勤続30年」 誠に申し訳ございませんでした。

# 白河厚生総合病院 無料巡回バスのご案内

白河厚生総合病院から新白河駅間の往復で無料の巡回バスがご利用頂けます。

## 白河厚生総合病院 バスコース



### 白河厚生総合病院無料巡回バス 時刻表

停車場所		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
行き	新白河駅(東口)	7:35	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—
	福島銀行白河支店(新白河)	7:40	—	9:35	—	11:05	12:05	—	14:50	—
	福島交通昭和町バス停	7:43	—	9:40	—	11:10	12:10	—	14:55	—
	白河駅	7:50	8:35	9:45	10:15	11:15	12:15	12:45	15:00	—
	ヨークベニマル横町店向かい	7:53	8:38	9:48	10:18	11:18	12:18	12:48	15:03	—
	小峰大橋 田町側	7:55	8:40	9:50	10:20	11:20	12:20	12:50	15:05	—
	白河厚生総合病院	8:15	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	13:00	15:15	—
帰り	白河厚生総合病院	—	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	14:15	15:15	15:45
	小峰大橋 田町側	—	9:10	10:10	10:40	11:40	12:40	14:25	15:25	15:55
	ヨークベニマル横町店前	—	9:13	10:13	10:43	11:43	12:43	14:28	15:28	15:58
	白河駅	—	9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	14:30	15:30	16:00
	福島交通昭和町バス停	—	9:20	—	10:50	11:50	—	14:35	—	16:05
	福島銀行白河支店(新白河)向かい	—	9:25	—	10:55	11:55	—	14:40	—	16:10
	新白河駅(東口)	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—	16:15

【おしらせ】・交通や天候の事情により、出発時間、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。